

IoT システム関連製品開発支援事業に関する質問、回答

(ため池管理システム開発事業)

掲載日	質 問	回 答
H30.7.18	製品開発後の実施期間はいつ頃とお考えでしょうか。	製品開発後の実証試験は、平成 31 年 2 月～3 月頃を想定しています。
H30.7.18	モデルため池は何処になりますか。また、現地調査は可能でしょうか。	モデルため池は、現在選定中です。
H30.7.18	今回の製品は、現場に常設でしょうか。それとも移設することも考えられていますか。	常設であり、移設は考えていません。
H30.7.18	観測対象は、水位データで、どのくらいの間隔で収集を考えられていますか。	豪雨発生時には、5 分～10 分間隔程度の情報収集を想定しています。
H30.7.18	複数のため池とありますが、何カ所ほどありますか。	県内には約 5 千箇所のため池がありますが、データは市町村毎の管理を想定しており、市町村毎のため池の数は数カ所～500 箇所程度です。